



館報 まつかわ

松川町公民館報
第670号
令和元年8月15日

町の川 ⑭ 福沢川（船窪付近）
アメンボが踊る清流

空—SORA



特徴

地上から離れたドームテント。
満点の星空を眺め、静かな森で深い眠りにつく。そしてアルプスに上る朝日で目を覚ます。

利用条件

- ・ 小学1年生以上から宿泊可能。
- ・ ペットを連れてのお泊りはできません。

チェックイン時には、ツリードームの説明を詳しくていねいにしてくれます。

旅の希望を伝えると、町内外の施設を紹介しながら計画を立ててくれます。

ツリドーム Dom'up

南信州まつかわ

上質な時間を提供するキャンプ

PREMIUM CAMP

お問合せ先
ツリドーム南信州まつかわ
(旧 松川青年の家 敷地内)
☎0265-36-4700

特 徴

小道を散歩したり、
焚き火を眺めて無心
になったり、ドーム
テントでのんびりし
たり。据え置きタイ
プならではの外と中
の両方の楽しみを体験していただくこ
ができます。階段がはしご式ではないた
め、上り下りに不安のある方や小さいお
子様連れの方にもおすすめです。

利用条件

- ・年齢制限なし
- ・ペットを連れてのお泊りはできません。



南信州まつかわ
観光まちづくりセンター
ツリドーム
滞在交流プログラム担当
小林 昭広さん

土-TSUCHI



トイレもキレイ
安心・安心♪

森—MORI



特 徴

樹木が発散するフィトンチッドに満たされた空間で散策路を歩いたり、読書をしたり、瞑想をしたり、森に癒やされる時間を過ごすことができます。空SORAと土Tsuchiとは別の敷地にあるため、よりプライベート空間を求める方におすすめ。

利用条件

- ・ 小学1年生以上から宿泊可能。
- ・ 森の中の特別サイトのため焚き火はできません。
- ・ ペットはドーム内に入ることはできませんが、ドームが設置されている敷地内はお泊り可能です。



夕食 まつかわ地産地消バーベキューセット

- ・ 地元産の黒豚肉(200g)と自家製タレ
- ・ りんごチップでスモークした無添加ソーセージ
- ・ 地元産の野菜、漬物、おにぎり(2個)
- ・ 地元産のりんごジュース
- ・ 地元洋菓子店の季節のフルーツを使ったデザート



宿泊者には…

朝食 まつかわモーニングセット

- ・ 地元人気パン屋の特性サンドイッチ
- ・ 地元産の野菜を使ったサラダ (又は季節の果物)
- ・ 地元産牛乳を使った食べるヨーグルト
- ・ スペシャルティ珈琲 (ドリップパック) 又はハーブティー

清流苑で日頃の疲れを癒やすことができます。



松川北小学校

習字

4年 大下 心優

家の近くの教室へ、習字を習いに行きました。

教えてくださる人は、小学校のボランティアに来てくださっている人です。最初にき本練習でたて線や横線や丸などを書きました。その後はいよいよ字の練習です。今日は「台車」という字を習いました。「車」という字は画数が多くておぼつかしかったです。でも、ていねいに教えてもらったので、最初よりも上手に書けるようになりました。うれしかったです。自分の名前も書きました。上手にかけたけれど、「優」は画数が多いので、むずかしかったです。

サッカーの試合

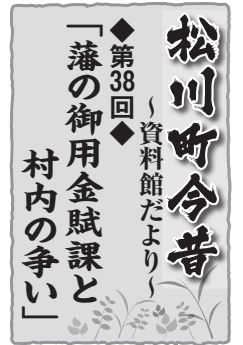
4年 原 凌大

今日は、お兄ちゃんのサッカーの試合を見に行きました。

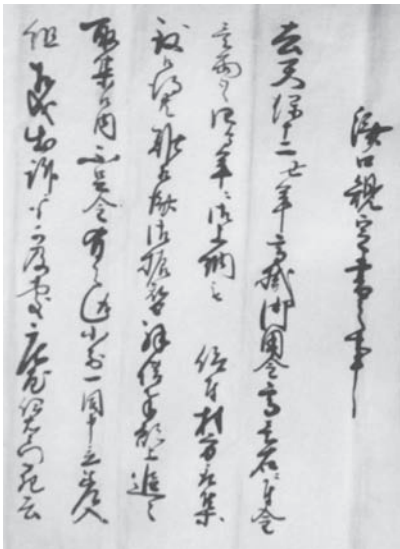


1 試合目はあさひが丘中学校と戦いました。お兄ちゃんパスをたくさんしていて、とてもかっこよかったです。ほかの人もパスやシュートをたくさんしていて、すごいなと思いました。試合にも勝ったのでうれしかったです。2 試合目は喬木中と戦いました。お兄ちゃんはいませんでしたが、松川中学校のキャプテンの人のプレーがとてもかっこよかったです。この試合も勝ったのでうれしかったです。

中学生のプレーをたくさん見て、ほくももつとつまくなりだいたいと思いました。今まで、自分でサッカーの練習をするときは、だいたいガリフティング練習でしたが、今度からはシュート練習もしてみようと思います。



江戸時代の藩では、毎年年貢をかけ、それで藩の運営や藩士の給与を賄っていました。ところが幕府からお金のかかる役職をさせられた場合や火災などで屋敷が被害を受けたたりすると、臨時の費用が必要になりました。商人や幕府や大名間で貸し借りをしましたが、それでも足りないこと治めている村の有力者や村々の百姓から費用を出してもらいました。これは御用金と言います。後年利息をつけて返却してくれました。しかし返却できず握りつぶしてしまうこともありました。



上新井村や古町村を治めていた、岐阜県に本拠地のある高須藩は、天保12年(1841)に、すべての村に御用金をかけました。それぞれの村の持高に合わせ、1石11両で4年間で出させようとしていました。上新井村はおよそ734石なので734両、古町村はおよそ460石なので460両でした。一年目は何とか、納めました。が下伊那の村々の中には、納められない村がいくつも出てきて願い上げ、荒地の分や大変困難な百姓の分を減額してもらったことになりました。またそれでも納められない百姓については期間を長くして、少額ずつ出すようにしました。そこで村々では細かな計算が入り、村役人たちはとても苦労しました。その途中で一般の百姓たちの中には、村役人のやり方に不信を持つ者たちが出てきました。

古町村では徴収額が合わず、納める御用金が不足してしまいました。そこで一般の百姓たち

は相談して役所へ訴え出るとにしました。その間に村役人の内の庄屋伊右衛門が死亡したので、上新井村の太郎左衛門と彦右衛門が庄屋の代りを務めるよう仰せ付けられました。二人は村のいろいろな帳面を調べてから、訴えられた村役人と訴えた一般の百姓の説得を始めました。しかしなかなか治まらず役所へ伝えました。双方が呼び出され説得されて、示談になりました。これで治まるかと思われましたが、不足分の半分は村役人などの頭分が負担することはよいとして、残り半分を一般百姓に持高にに応じて負担するようにしましたが、なかなか治まりませんでした。そこで上新井村の二人のほかに、他村の有力者三名が加わって説得をしました。しばらくしてようやく落ち着きました。話し合って上新井村の二人に、自分たちで村役人を選んで村政をやりますと伝えました。表には出ていませんが、御用金のこと以外に村内の問題がからんでいたのかもしれない。

松川町資料館

伊坪 達郎

長野県民コンサート

松川町

開催決定!

情報



日時：11月16日(土) 14時～ 開演予定

出演：松本交響楽団

場所：松川町立松川中学校 体育館
(松川町元大島3293)

入場無料!



県民コンサートが松川町にやってきました！
普段なかなか触れることのない、生のオーケストラの演奏が入場無料でお楽しみいただけます。
総勢60名を超えるオーケストラによる圧巻の演奏を是非聞きに来てください。

ハイランニング通信



全町をあげて、ランナーの応援をお願いします。



本年開催の第5回大会には、昨年実績を上回る2,310名のエントリーをいただきました。遠路ご参加いただく方や地元参加の方、すべてのランナーの皆様に向ける、温かいご声援と激励をお願いします。

①大会当日は、町内でランナー通過に伴う交通規制を実施します。規制区間内は車両の通行ができません。ご不便をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。
②コース沿線にお住まいの皆様及び事業所の皆様には、ランナーの安全のために生垣や庭木の剪定のご協力をお願いいたします。

実行委員会からお願い



(応援を含めて大会の記録写真撮影します。今後、広報・宣伝等で使用する場合がありますので、あらかじめご了承ください。)
お問い合わせ先…大会事務局
電話48-6713

地域を知る講座

狼煙上げ体験

戦国武将武田氏の情報伝達ネットワークを体験しよう。



- ◆期日 **8月31日(土)**
〈少雨実施〉
集合9時
狼煙上げ10時頃
- ◆場所 松川町台城公園
- ◆持ち物 軍手・飲み物・帽子
- 問い合わせ・申し込み先 松川町中央公民館えみりあ
電話36-2622



松川少年少女合唱団 ワンヴォイスロビーコンサート

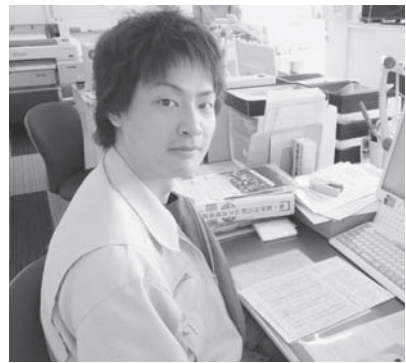


7月19日に「三遠南信教育サミット」が当公民館えみりあで開催されました。
長野・愛知・静岡、各県の教育委員会が集うこの場で、ワンヴォイスの皆さんは堂々と素晴らしい合唱を聞かせてくれました。
掲載できないのが残念ですが、当日はロビーにあふれんばかりの人が集まり、大変盛況な中でロビーコンサートが行われていました。



一緒にスポーツしませんか？

公民館主事 小池 秀郎さん



4月から新しく公民館主事としてお勤めの小池秀郎さん。以前は建設課で今回の異

動で生涯学習課という事で、畑違いの分野に戸惑いながらも包み隠さず質問に答えてくれる笑顔の素敵な好青年です。

本館3部の中では体育部を担当し駅伝、登山、スポーツフェスティバルと恒例行事がこれから目白押しで本人曰くとても楽しみにしているそうです。

町民の皆さんと接するという点で、役場と公民館では少

すぽっと

青年学級水質班 町長へ要望書を提出

公民館学習からスタートし、昭和50年から44年間、町内河川・水路の水質調査を行っている「青年学級水質班」の皆さん。

この度、講師の桂川雅信氏（全国水の相談所主宰・環境カウンセラー）と共に、宮下町長へ要望書を提出しました。

要望書の内容は、下水道整備により町内の水質は劇的に改善された一方で、いまだ汚染状態が継続している地点があること。下水道経営健全化

のためにも、汚染地域や不明水などの特定が急務であること。

これらを、今まで蓄積されたデータをもとに、町のさらなる水質改善を要望したものです。

水質班代表の寺沢茂春氏（増野）は、町への「指摘」ではなく、町民と行政が一緒になって考え、解決へ向かっていくことが大事。町民の皆様にも自身の生活する環境が今どのような状態かを、改め

し違うそうです。様々な年代との関りや様々な団体、地域と関りが多く自分自身のコミュニケーションの幅や人としての幅が広がっていくのを感ずると仰っていました。

公民館事業は地域の色が濃く様々な行事を年間通じて行っています。その中でまず小池さん自身がいることから始め、つかんだ経験を基に公民館事業の運営に携わっていきたく抱負を語ってくださいました。えみりあにお越しの際には是非、小池さんに声をかけてみてください。

て見直すきっかけとなればと話していらつしやいました。

社会教育主事 大澤達也



問題 考える みんなで
権考 仲良
人良 く

友達は今 周りの人を
幸せに 川口 はな

いじめだめ その一言で
すくわれる 武松 心空

友だちは みんななかよく
あそぼうね 片桐 晶翔

人権は 笑顔を守る
正義の味方 土岐 文乃

遊具はね 学校のみんなと
ゆずりあい 森岡 美音

友達と 笑顔たくさん
中央小 大嶋 歩陸

中央小学校5年 「人権に関する標語」

短歌

田村 三好（宮本）

腰痛に耐えつつ今朝は此処までと

決めて狭庭の雑草むしる

娘の文の末尾は何時

仕事量減らす勘考せよと添えあり

明け方に目覚めて聴けり啄木鳥が

幹打つ音の一身なるを

哀愁のにがみに魅かれ呑みきたる

ビールを断ちて百日過ぎぬ

無人駅預かりますと言うごとく

ベンチに日々を過す黒猫



アカモズについて長年研究されてきた松宮裕秋さんから、松川町の果樹園とアカモズの生態との関係について講演していただきました。

声
野鳥アカモズの生態
 絶滅危惧種アカモズとリンゴ栽培の関係
 地域講座

堤原 関 克義

7月7日(日)に公民館主催の地域を知る講座が開催され、『アカモズ』についてより詳しく学習する機会を得ました。

絶滅危惧種アカモズは、渡り鳥で5月頃子育てにほぼ日本だけに飛来し、その数、400羽ほど。その内長野県には約200羽が来てその多くが松川町で生息し、その数も他地区と違ってこの地だけ



〈上〉モズ (オス)
 〈下〉モズ (メス)



アカモズ

が際立って伸びているようです。ライチョウも絶滅危惧種で、その生息数は約1800羽ですが、いかにアカモズの400羽が少ないのかこの数でお分かりになると思いますが。このアカモズが町内で生息することは、この町の大きな特色でもあり、またひとつの宝物でもあります。夏の終わり頃から南に向かって最終地点マレーシアを目指すのですが、途中のアジア地域ではこの鳥を捕まえて食べてしまう地域もあり、また海を渡る途中で力尽きるものもありで、生息には多くの受難があります。数年前より松川町で信州大学と北海道大学の学生が、「アカモズの生態」と「なぜ松川町だけが特別増えているのか」等の研究を進めております。

先日も県外ナンバーの車で写真を撮りに来られている方を見受けました。町としても来訪者が多いのは歓迎するところではありますが、一度に多くの方がこの鳥の写真を撮りに来られても、農作業の邪魔になり迷惑の事となります。

アカモズを保全するために

リンゴ園に貴重な野鳥が生息していることを知っていたら、もしアカモズらしき鳥を見つけた場合も巣は取らず、あまり刺激しすぎないよう見守っていたいただきたい。

アカモズとは

モズの仲間です。全長は約20cm。モズよりほっそりしています。元々国内に数多く生息していたが、驚異的な早さで数が減ってしまい絶滅危惧種に選定されている。本来の生息環境は草原に木の生えた開けた環境だが、リンゴ園はアカモズにとって最後の楽園と言える。リンゴ園にいる虫をたくさん食べる益鳥で、リンゴや葉をつつくなどの害を加えることはない。

草

7月18日に京都アニメーションで起こった放火事件、たった一人のせいで35人もの尊い命が失われ、まだ多くの方が病院で治療を受けています。亡くなった方のご冥福を祈るとともに負傷された方の快癒を祈るものです。

今回被害を拡大させたのが身近な燃料であるガソリン。普段から使っているものであまり意識しないかもしれませんが、マイナス40℃でも引火するほど気化するものが早く爆発的に燃焼する危険なものです。草刈り機などに使うために携行缶に入れて持ち運んだりにしているのをよく見ますが、たまに「それ大丈夫？」というような使い方をしている人も見かけます。ガソリンに限らず灯油なども冬場にはよく扱うと思いますが、どれも扱いを間違えれば命にかかわるものだと肝に銘じて安全な取り扱いを今一度考えてみたいと思います。

大久保康司

公民館報
「まつかわ」
 第 670 号
 令和元年8月15日
 発行所 松川町公民館
 責任者 小 沢 誠
 編集人 公民館編集部
 Tel 36-2622
 e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp
 飯田市上郷黒田121
 印刷所 龍共印刷(株)